Tufin Orchestration Suite R14-2公開

Press Release: 2014-09-25 http://www.ART-Sentan.co.jp/press/2014-09-25.htm

先端技術研究所
Tufin Orchestration Suite R14-2公開
統合ファイアウォール管理、ネットワーク変更自動化、アプリケーション
コネクティビティ管理のスイートを機能強化

有限会社 先端技術研究所（Advanced Research of Technologies, Inc.、http://www.ART-Sentan.co.jp/、本社：横浜、電話： 045-978-1292 、社長：工藤安信）は、イスラエル Tufin Software Technologies（ツフィン ソフトウェア テクノロジース）社「Tufin Orchestration Suite」（オーケストレーション スイート）の新バージョン「R14-2」を25日公開した。Tufin Orchestration
Suiteは、統合ファイアウォール管理「SecureTrack」（セキュアトラック）、ネットワーク変更自動化「SecureChange」（セキュアチェンジ）、アプリケーション
コネクティビティ管理「SecureApp」（セキュアアップ）のスイートとして構成されている。

Tufin Orchestration Suite R14-
2は、SecureTrack、SecureChange、SecureAppそれぞれの機能が強化されている。

SecureTrack R14-2の機能強化
- SNMP v2、v3での動的ルーティング情報、Cisco
CSMデバイスの動的トポロジー、NAT、アカウンタビリティ、Juniper ISG、NSM
Vsysインスタンス、Palo Alto PanOS 6、Panorama、Compare内の Cisco IPSec
VPN詳細、ファイアウォールのトランスペアレント、ブリッジ
モード等、デバイス監視のサポートが追加された。
- 統合 セキュリティ
ポリシーの例外に関して、例外に当てはまるルールをレポート、例外に一致するポリシー制御を確認する。
- ルール
ドキュメンテーションが向上し、ルール名、コメント内に見つかったテキストにより、ルール
ドキュメンテーション テーブルをフィルタする。
- REST APIでのポリシー分析問合せ、レビジョン
フィールドのレビジョンのオーソライズ状態、Palo Alto、Fortinetファイアウォール、Juniper MX、Cisco XRルータの オフライン デバイス追加、LDAPユーザを使った認証、トポロジー

マップ内デバイスで検索された ネットワーク インタフェース確認等、REST
APIがアップデートされた。
SecureChange R14-2の機能強化
- Verifierが高速化され、性能が大幅に向上した。
- SecureTrack内の新しい統合 セキュリティ ポリシーに対して、Risk Analysisが計算する。
-
Designerが、選択されたデバイス、ゲートウェイ上に最後にインストールされたポリシーに従って、変更提案計算の Check Pointの Install-Onの設定を考慮する。
- Verifierが、各デバイスに最後にインストールされたポリシーに基づいて結果を出す。
-
SecureApp内で発行されたチケットが変更の要約を表示することで、アクセス依頼のリストの理解が容易になった。
- Risk
Analysis、Verifierの表示が新しくなり、全てのWebブラウザに結果が表示されるようになった。
SecureApp R14-2の機能強化
-
他のアプリケーションで利用できない特有のアプリケーションためのローカルなサービス、サービス グループの定義でリソースを体系化できる。
-
サーバを再生成し変更のチケットを発行することなく、接続を保持したまま、アプリケーション間でサーバを移動できる。
-
IPアドレス無しのサーバが、アプリケーション接続の中で定義、使用可能になった。例えば、IP無しのサーバ、接続とアプリケーション全体をテンプレートとして定義し、同様の構造を共有するアプリケーションのインスタンスを生成するために展開することが可能である。
- ファイアウォールの ルール
ベース内のルール、オブジェクトからアプリケーションを設定するための新しいツールが使えるようになった。
-
多くのリソース、接続とともに大きなアプリケーションをオープン、表示、編集することが、以前よりかなり速くなった。
- REST APIのドキュメンテーションの Webポータルが公開された。

先端技術研究所では、直販、およびメーカ、流通、システム
インテグレータ等を経由しての販売を行う。

SecureTrack http://www.ART-Sentan.co.jp/tufin/securetrack.htm
SecureChange http://www.ART-Sentan.co.jp/tufin/securechange.htm
SecureApp http://www.ART-Sentan.co.jp/tufin/secureapp.htm

Tufin Software Technologies http://www.tufin.com/
Tufin社は、2005年に設立され、本社をイスラエルの Ramat Gan（ラマットガン）に置いている。

先端技術研究所 http://www.ART-Sentan.co.jp/
先端技術研究所は、本社を横浜に置き、情報技術（IT）分野における日本を代表する先端技術ハンターである。高度な問題解決力、基礎から応用までの豊富な技術力、長年の業界経験と事業実績、米国、ヨーロッパ、イスラエル等との幅広い人脈、強力な国内販売チャネルを差別化として、海外のソフトウェア製品の日本市場への輸入販売等、多方面の事業を行っている。

==========
先端技術研究所
Advanced Research of Technologies, Inc. (ART)
http://www.ART-Sentan.co.jp/
KHB 16427@nifty.ne.jp
045-978-1292
==========

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com